県西版
千葉日報WEB
http://www.chibanippo.co.jp
メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp
市松　船習
柏　志
川戸　橋野

いじめ防止、克服を

ムトーさん、朗読で訴え

船橋の中学

船橋市立飯山満中学校（清水龍夫校長、生徒324人）で15日、エッセイストで作詞家のヒロコ・ムトーさん(66)の講演会「心の宅急便」が開かれた。

ムトーさんは、中学時代にいじめに遭った次女のイラストをきっかけに誕生した著書「あなたがいい」を朗読し、いじめの防止と克服を訴えた。

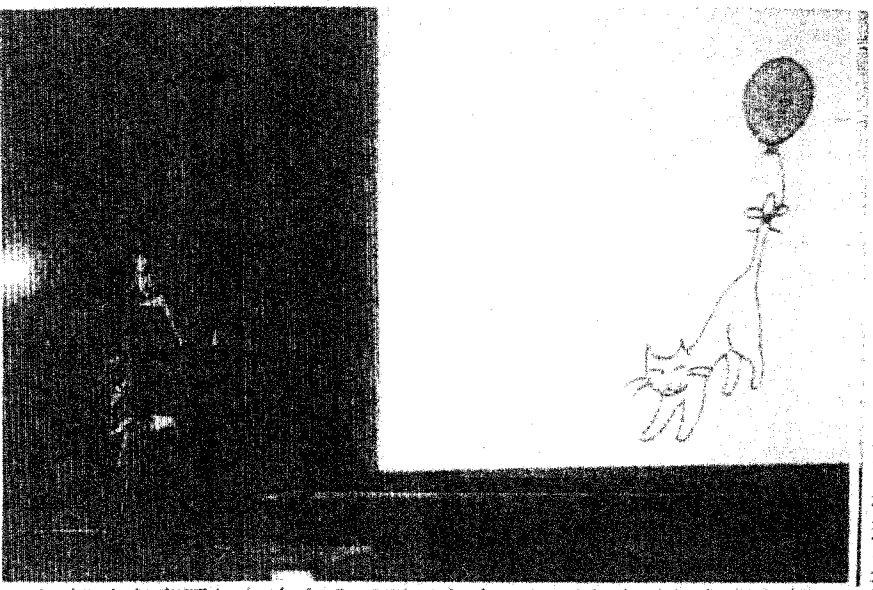
ムトーさんは1979年に米国から帰国。帰国子女となった娘2人がそれぞれいじめに遭った体験を持つ。特に次女は心の傷を成人後も引きずり「凍るような顔」（ムトーさん）をしていたという。

2004年、ムトーさんは次女の描いた、クマがネコを抱きしめているイラストを見かけ、「この子はまだ人を信じたがっている」と確信。主人公のネコが自信を取り戻す物語を書き下ろし、次女に挿絵を描いてもらって同年出版した。これを機に、次女は笑顔を取り戻したという。

ムトーさんは講演で「『友だちにならない？』と声を掛けるだけでいい」「いじめは人から自信を奪うが、あなたのままでいい」などと全校生徒に向かって優しく語り掛けた。

2年生の大和佳菜さん(13)は「いじめがどれだけ人を苦しめるか痛いほど伝わってきた。身近な問題だけに心に響いた」と感想を話した。講演会は道徳の授業として開かれた。

ムトーさんは07年に「心の宅急便」プロジェクトをスタート。全国の小中高校で講演活動を展開している。



いじめを克服した次女のイラストをスライド上映しながら朗読するヒロコ・ムトーさん＝船橋市立飯山満中学校

H23.11.18(金)
千葉日報（県西版）